

小さな危険見逃さず

都内支店管轄現場で

大豊建設の益田社長

大豊建設の益田浩史社長は2日、東京都内の建築・土木の両現場で安全パトロールを実施した。写真。東京土木支店管轄の「目黒川防潮堤耐震補強工事（その1、その2、その3）」と東京建築支店管轄の「清掃工場新築工事」の現場を対象に、中村百樹取締役兼専務執行役員建築本部長、原肇安全環境部長らと共に現場を巡視し、安全衛生方針に基づいた安全



管理状況や作業環境などを確認した。

益田社長はパトロールの講評で「現場は会社にとって最大の営業であり、安全や品質に問題が生じれば、それまでの成果は失われてしまう。小さな危険要因も見逃さず、潜在的なリスクを先取りして管理してほしい」と述べ、安全と品質の徹底を呼び掛けた。

パトロール終了後には、東京都中央区の本社で安全体感教育に活用するVR（仮想現実）を体験した。若手職員の災害防止と安全意識向上のためのツールで、社長自ら体験することで、安全を最優先する考えを安全施策や意思決定に反映していく姿勢を示した。

